

## 2025年9月度bossjob新規登録状況レポート

2025年9月度のbossjob日本国内の新規求人企業と新規登録求職者の企業業種、求人職種、求職者の希望職種の割合データを公表いたします。

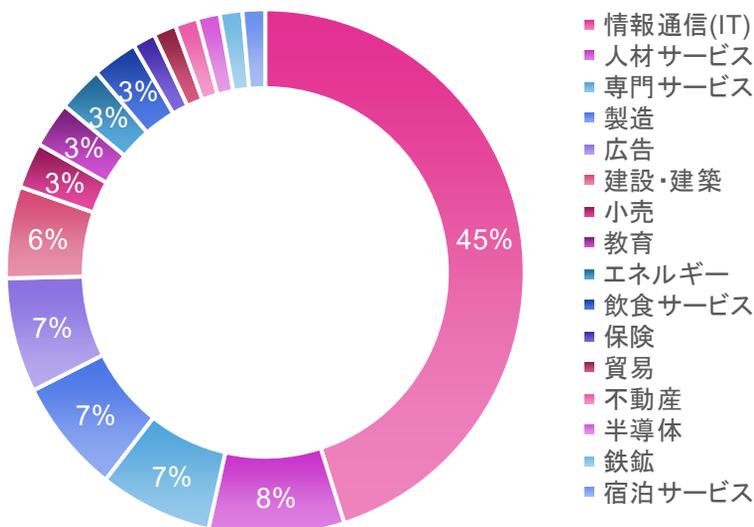
### 新規登録企業業種

2025年9月にbossjobへ新規登録した企業の業種構成を見ると、前月に続き「情報通信（IT）」が**45%**と最多を占め、安定して高い水準を維持しています。即戦力IT人材へのニーズは依然強く、企業のDX推進やWeb開発案件の継続的な増加が背景にあると考えられます。一方で、今月は「人材サービス（8%）」「専門サービス（7%）」「広告（7%）」「建設・建築（6%）」といった新たな業種の登録が目立ち、外国人材の活用がIT領域にとどまらず、人材紹介・コンサル・クリエイティブ・現場職種など多様な分野へと拡大している傾向が顕著です。

また、「製造業」は8月に続き**\*\*7%\*\***を維持し、機械・技能系の人材確保に向けた企業のbossjob活用が定着しつつあります。一方で、8月に急増していた「小売（17%→3%）」「飲食サービス（4%→3%）」などインバウンド関連業種は落ち着きを見せ、採用の季節変動が影響していると見られます。

さらに、今月は「教育」「エネルギー」「保険」「貿易」「不動産」「半導体」「鉄鋳」「宿泊サービス」など、各**1~3%**と少数ながらも多様な業種からの登録があり、bossjobの活用範囲が着実に広がっていることが明らかです。これは、高度外国人材や多言語対応人材を必要とする企業が、業種を問わず自社採用チャネルとしてbossjobを選び始めている証左といえるでしょう。

業種	割合
情報通信(IT)	45%
人材サービス	8%
専門サービス	7%
製造	7%
広告	7%
建設・建築	6%
小売	3%
教育	3%
エネルギー	3%
飲食サービス	3%
保険	1%
貿易	1%
不動産	1%
半導体	1%
鉄鋳	1%
宿泊サービス	1%



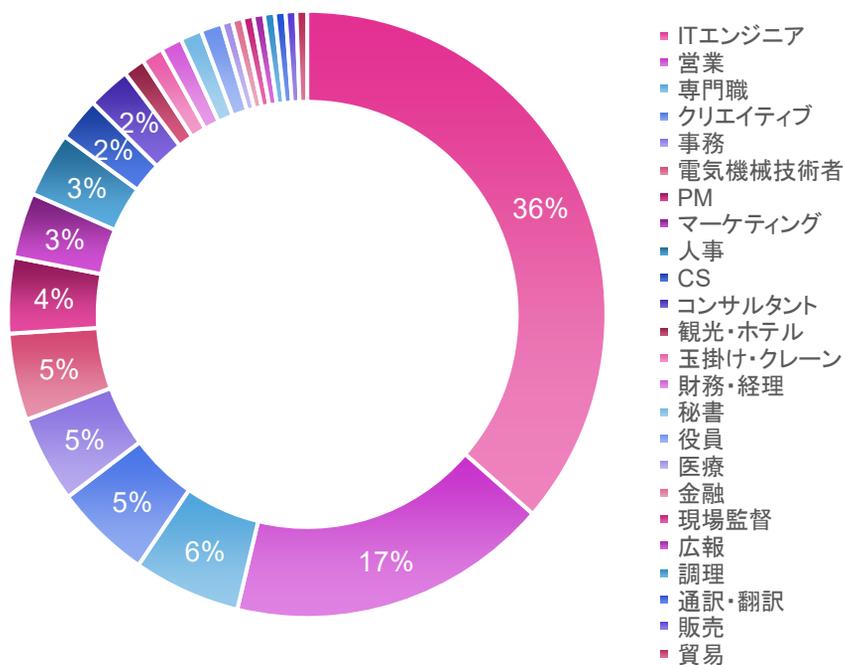
## 新規求人職種

9月にbossjobに新規掲載された求人の職種を分析すると、「ITエンジニア」が36.4%と前月（53%）から大幅に減少したものの、依然として最多の割合を占めており、テック領域における採用ニーズが継続していることがうかがえます。一方で、「営業」は8月の11%から今月は17.3%へと急増し、外国人材の活用がコミュニケーションを要する職種にも広がっていることを示しています。

また、「専門職（5.8%）」「クリエイティブ（5.2%）」「事務（4.6%）」「電気機械技術者（4.6%）」「PM（4.0%）」といった中核職種がバランスよく分布しており、企業の求人がIT特化からより多職種型・実務系・管理系に分散しつつある傾向が顕著です。

さらに、「マーケティング」「人事」「CS」「コンサルタント」などホワイトカラー系職種の掲載も一定数見られ、「観光・ホテル」「秘書」「役員」「調理」など多様な職種も1%前後ずつ出稿されており、求人の裾野が広がっていることが分かります。全体として、9月はIT偏重だった8月に比べ、より幅広い職種での採用活動が進んだ月であり、外国人材の活用フェーズが実務全体へと拡張し始めていることを示唆しています。

職種	割合
ITエンジニア	36.4%
営業	17.3%
専門職	5.8%
クリエイティブ	5.2%
事務	4.6%
電気機械技術者	4.6%
PM	4.0%
マーケティング	3.5%
人事	3.5%
CS	2.3%
コンサルタント	2.3%
観光・ホテル	1.2%
玉掛け・クレーン	1.2%
財務・経理	1.2%
秘書	1.2%
役員	1.2%
医療	0.6%
金融	0.6%
現場監督	0.6%
広報	0.6%
調理	0.6%
通訳・翻訳	0.6%
販売	0.6%
貿易	0.6%

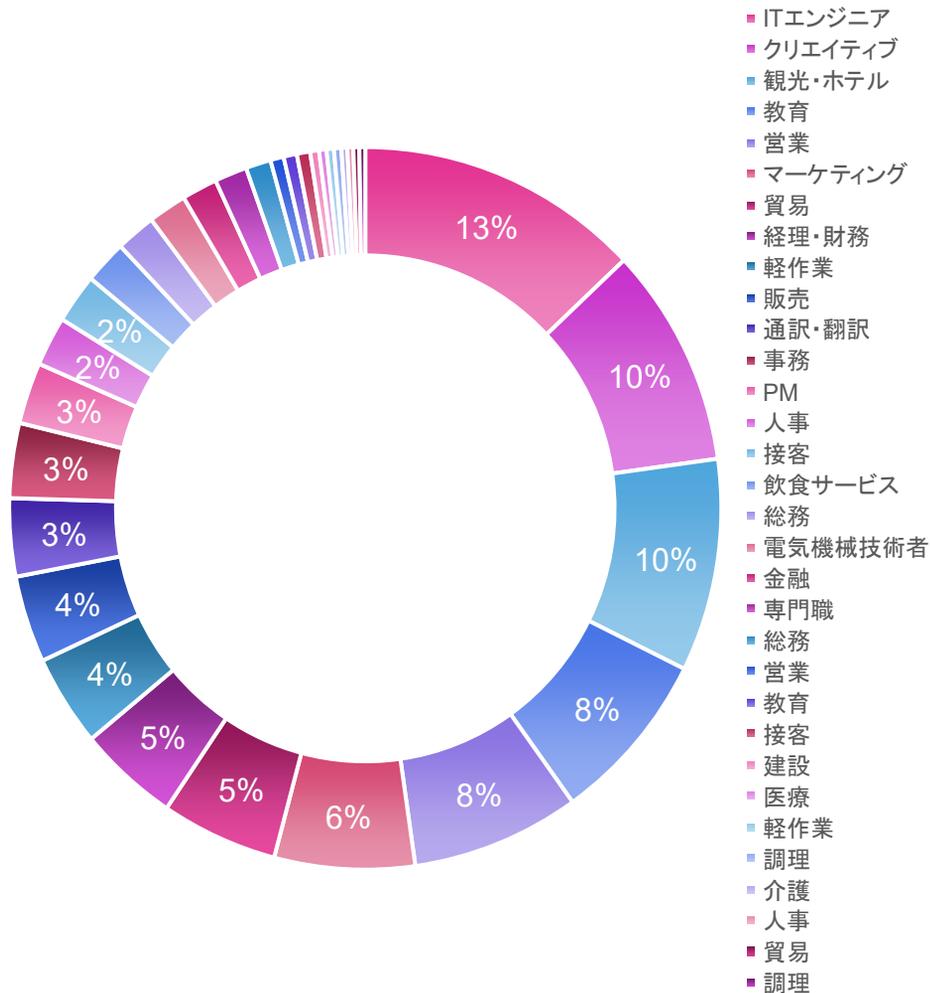


## 新規求職者希望職種

9月にbossjobへ新規登録した求職者の希望職種では、「ITエンジニア」が12.9%と前月（23%）から大幅に減少した一方で、「クリエイティブ（9.9%）」「観光・ホテル（9.5%）」「教育（7.8%）」「営業（7.6%）」など、非IT分野への関心が高まっている傾向が顕著に見られました。とりわけ、前月1桁台だった観光・ホテルや教育関連職種が大きく伸びており、外国人求職者が自身の語学力や接客スキル、専門知識を活かした職種への志向を強めていると考えられます。

また、「マーケティング（6.4%）」「貿易（5.3%）」「経理・財務（4.6%）」といった事務・国際業務系の職種にも一定の人気が見られ、全体としてキャリア志向の職種希望が広がっているのが特徴です。一方で、軽作業や飲食・接客といった従来人気のあった職種は軒並み低下傾向にあり、より専門性やスキル活用を意識した志望傾向が強まっています。これらの傾向から、9月はITに集中していた求職者の職種希望が多様化し、観光・教育・ビジネス職など幅広い分野への広がりを見せた月となりました。

職種	割合
ITエンジニア	12.9%
クリエイティブ	9.9%
観光・ホテル	9.5%
教育	7.8%
営業	7.6%
マーケティング	6.4%
貿易	5.3%
経理・財務	4.6%
軽作業	4.1%
販売	3.9%
通訳・翻訳	3.5%
事務	3.4%
PM	2.7%
人事	2.2%
接客	2.2%
飲食サービス	1.9%
総務	1.8%
電気機械技術者	1.7%
金融	1.6%
専門職	1.5%
総務	1.1%
営業	0.6%
教育	0.6%
接客	0.6%
建設	0.4%
医療	0.3%
軽作業	0.3%
調理	0.3%
介護	0.3%
人事	0.3%
貿易	0.3%
調理	0.3%



## Yolo Technology株式会社 bossjob Japan Country Manager 植村 謙一郎

2003年、製造業を中心とする大手人材派遣企業にてキャリアをスタート。主に求職者（2C）向けの集客領域で実績を積む。リーマンショックを契機に、社内の主要メンバーとして人材紹介事業部の立ち上げに参画。

その後、複数のベンチャー企業にて、外国人材の派遣事業の立ち上げを主導。加えて、深刻化する物流業界の人材不足を解決すべく、ドライバー専門の派遣事業を立ち上げ・展開。また、IT人材市場のニーズに応えるため、ITフリーランス人材の事業統括も歴任。

現在は、AIスカウト型グローバル求人プラットフォーム「bossjob」の日本市場責任者（Country Manager）として、日本企業と海外高度人材を結ぶグローバル採用の推進に取り組んでいる。



### 【主なご取材可能事項】

- ✓ 日本での外国人雇用の現状と必要性
- ✓ 高度外国IT人材が日本ビジネスにもたらすメリット
- ✓ 今後の日本市場における外国人材雇用の動向
- ✓ bossjobについて

### 【本件に関するお問い合わせ先】

Yolo Technology 株式会社：Ray（レイ）

TEL：03-5860-1025 E-MAIL：[feedback@bossjob.jp](mailto:feedback@bossjob.jp)